

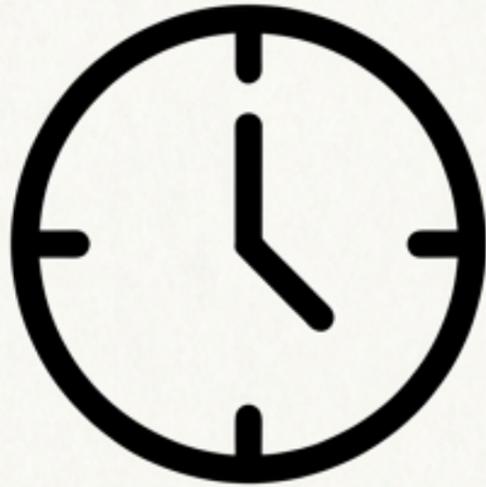


定時法と不定時法： メトロノームとルバートの時間哲学

リズムとしての時間を再考する

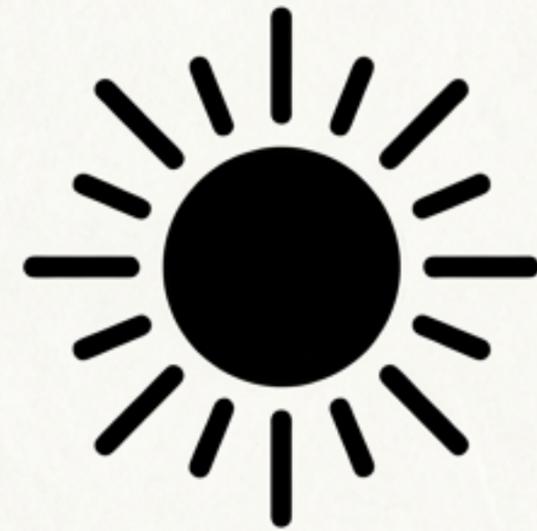
時間の二つの顔

定時法



現代のスタンダード
機械的、均質、客観的
24時間の等分割

不定時法

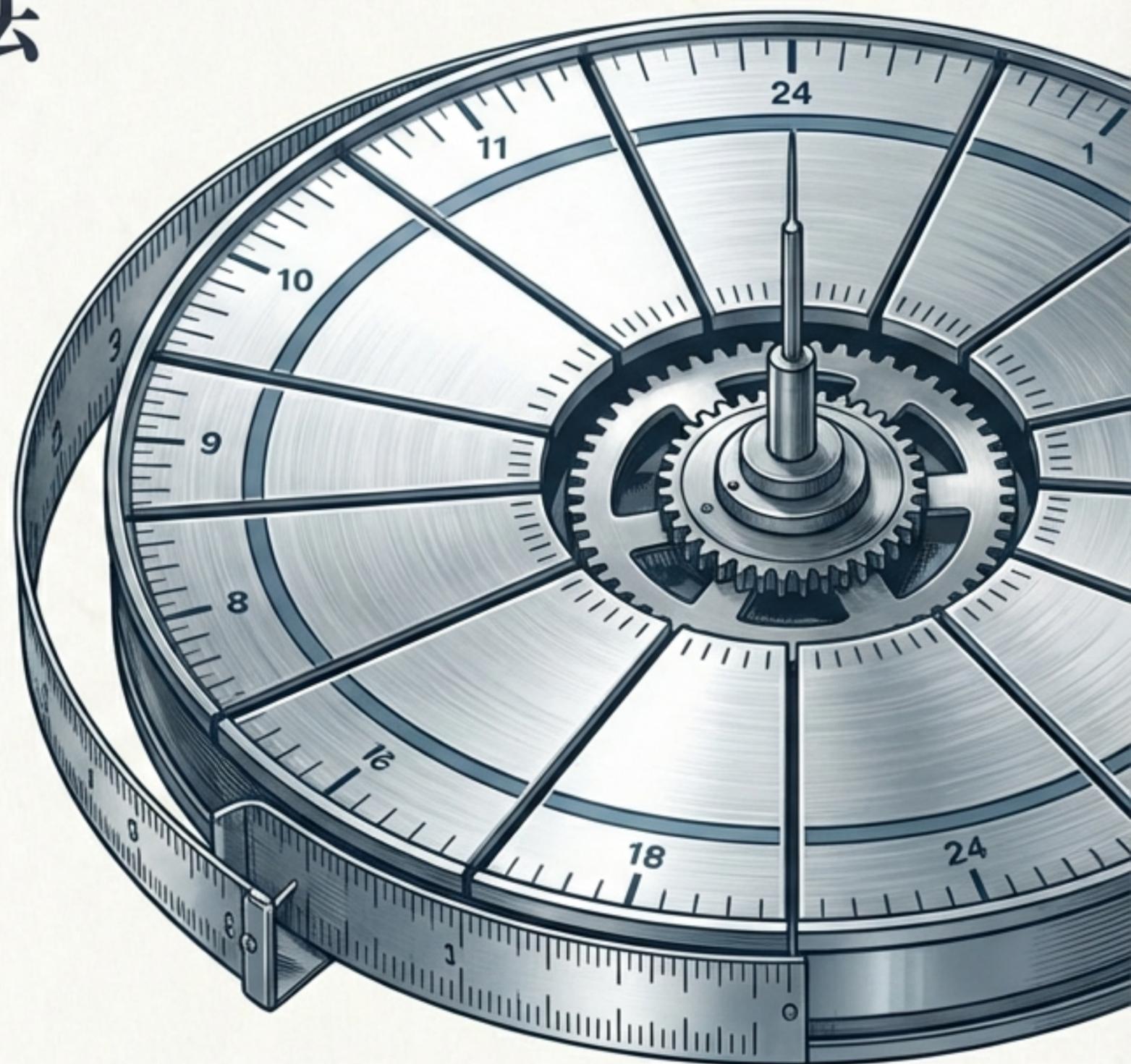


江戸の智慧
有機的、伸縮、主観的
自然（日照）による変動

メトロノームとしての定時法

現代の時間は、1日を24の均等な単位に切り分ける「機械化された時間」です。季節が移ろおうと、昼夜の長さが変わろうと、そのリズムは決して揺らぎません。

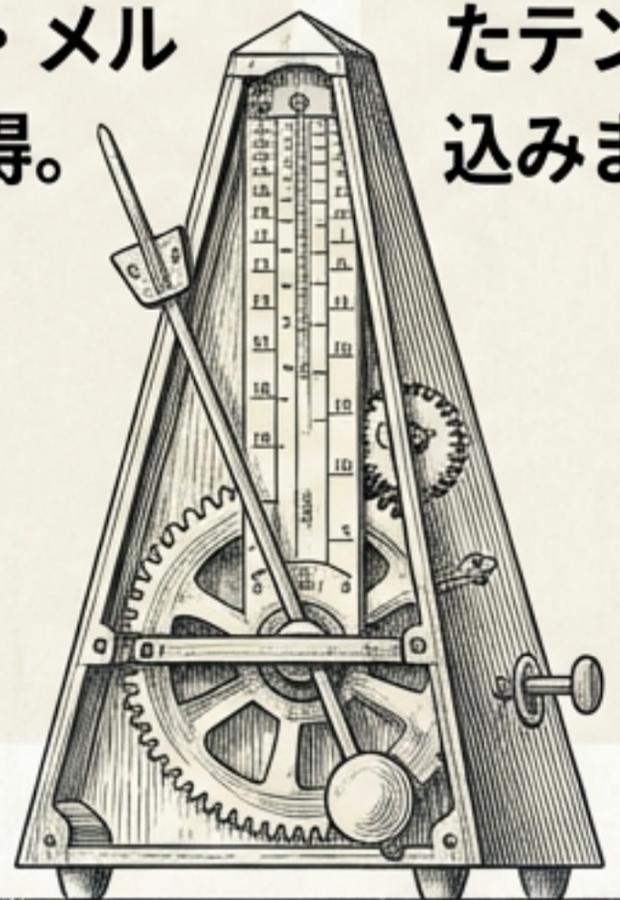
これは、人間を自然の周期から切り離し、効率と生産性を最大化するための「飼い慣らされた時間」の象徴です。



1816年：時間の絶対尺度化

発明と特許

ディートリヒ・ニコラウス・ヴィンケルが考案し、ヨハン・ネポムク・メルツェルが特許を取得。



ベートーヴェンの執着

彼は友人の発明に熱中し、自作に初めて数値化されたテンポ（BPM）を書き込みました。



Insight

音楽における「1分間に120拍」という客観的指標の誕生は、産業革命期の機械時計の普及と同期しています。それは時間が「感覚」から「数値」へと変わった瞬間でした。

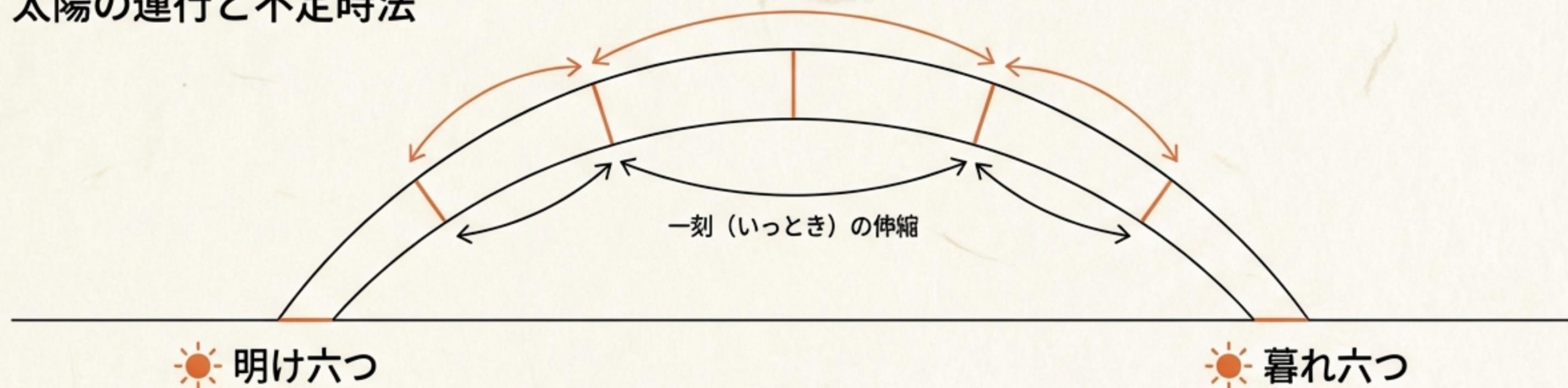
ルバートとしての不定時法

江戸時代の時間は、時計の針ではなく、
太陽の動きに合わせて呼吸していました。
「明け六つ」(日の出)と「暮れ六つ」(日没)を基準に、
昼と夜をそれぞれ6等分するシステムです。

自然に寄り添う伸縮

季節によって、そして昼と夜によって、
「一刻(いつとき)」の長さは日々変化します。

太陽の運行と不定時法



一刻の長さは、季節で40分も変わる

夏至 (Summer Solstice)



屋の一刻 ≈ 2.5 時間

冬至 (Winter Solstice)



屋の一刻 ≈ 2 時間弱

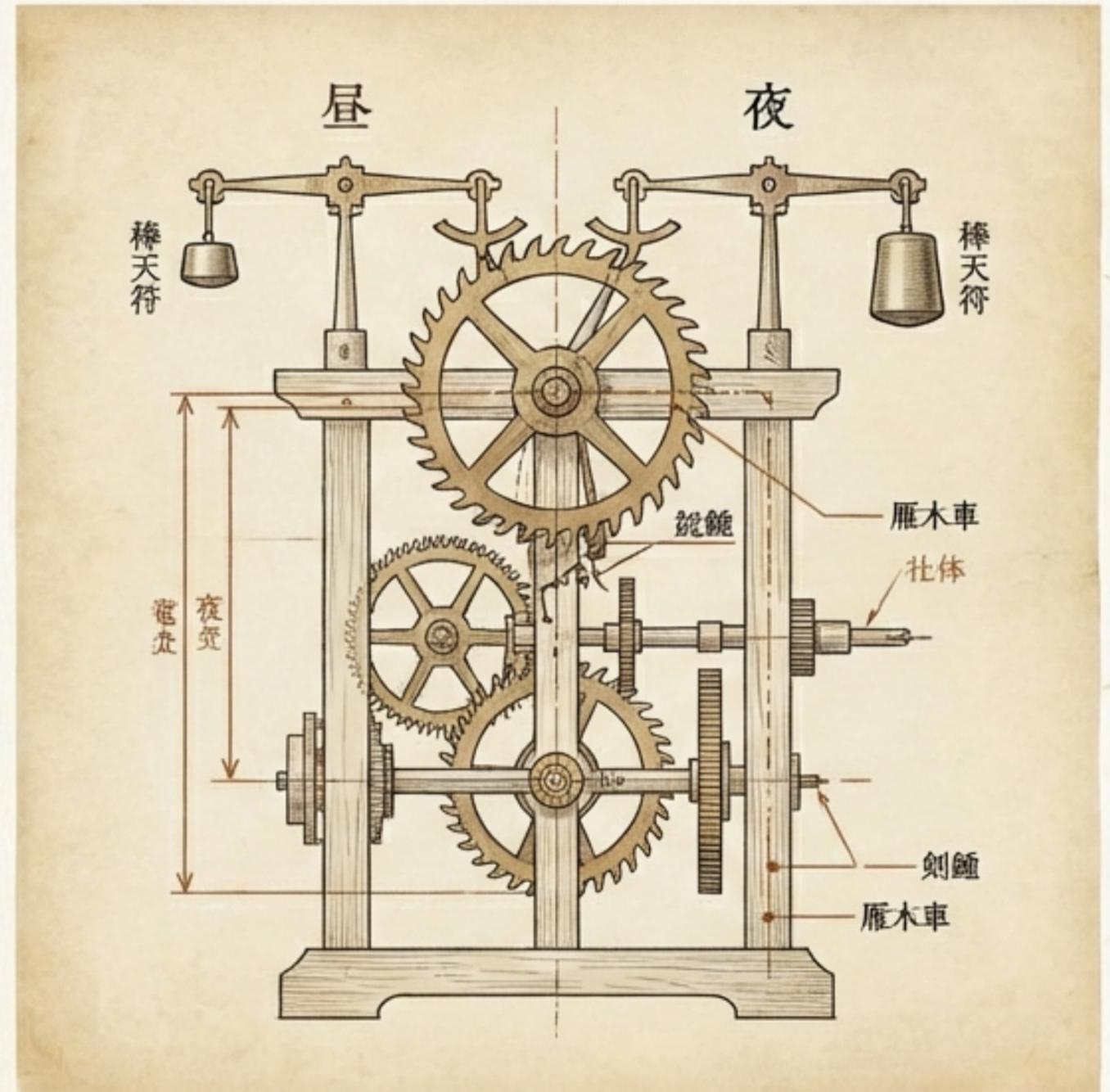
夏至の屋の一刻は約2時間半、冬至の屋の一刻は約2時間弱。
この40分以上の差こそが、生活のリズムが自然と同期していた証です。

和時計のテクノロジー

不定時法に対応するため、江戸の時計職人は驚くべき機構を開発しました。

「棒天符」の錘（おもり）を昼と夜で掛け替え、さらに15日ごとに季節調整を行うことで、伸び縮みする時間を正確に刻んだのです。

これは技術の遅れではなく、複雑な自然素の変変化に機械をを合わせるという、高度な技術的適応でした。



テンポ・ルバート：盗まれた時間

音楽用語の「ルバート」はイタリア語で「盗まれた時間」を意味します。ある音符から時間を奪い、別の音符に与える。演奏者がテンポを自由に伸縮させることで、機械にはない情感が生まれます。

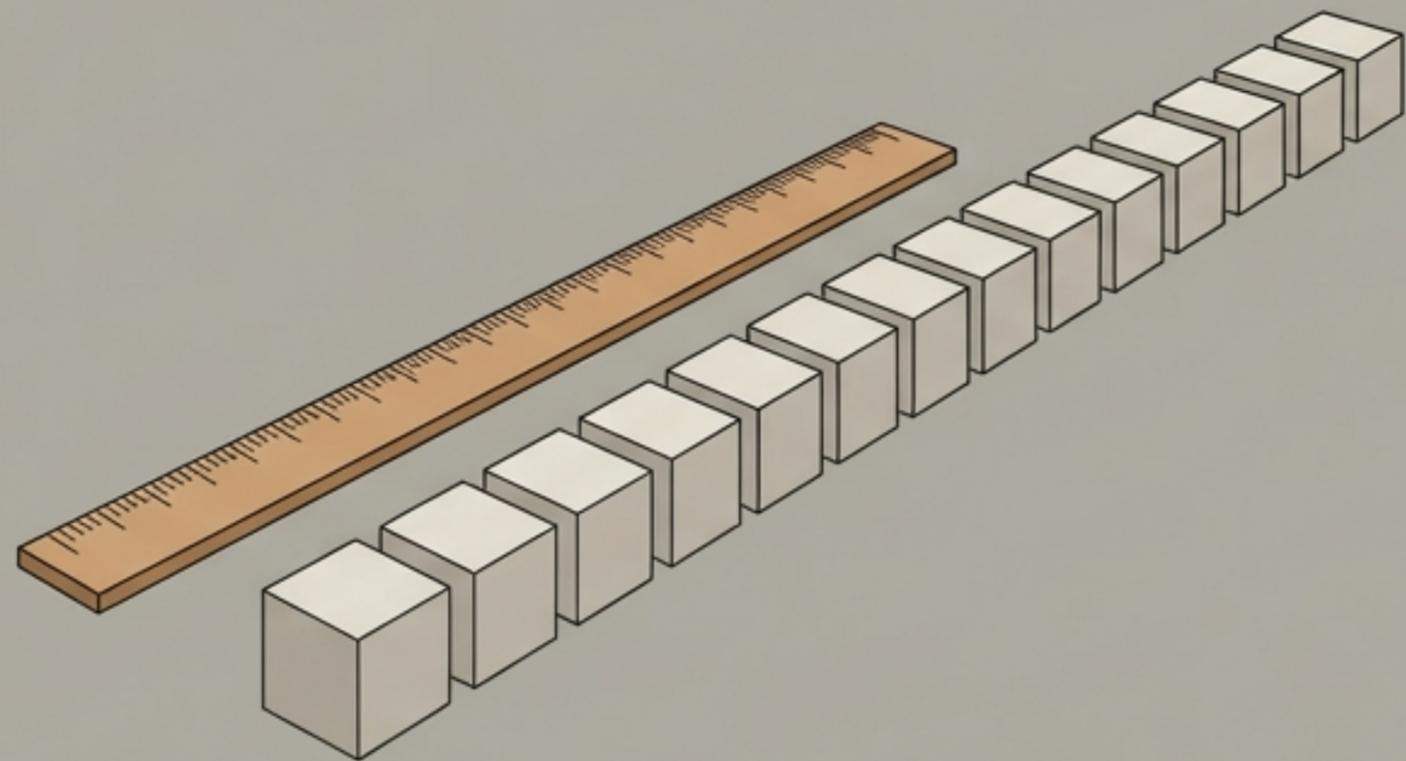
江戸の不定時法は、まさに太陽が奏でるルバートでした。絶対的な基準（太陽）に従いながらも、その内側で生活のリズムを柔軟に調整する智慧です。



テンポとは何か？

客観的時間 (Objective Time)

ニュートン力学的絶対時間。
空間的に並列化された、測定可能な
「時計の時間」。



主観的時間 (Subjective Time)

アンリ・ベルクソンの「持続 (Durée)」。
体験され、記憶と予期によって構成される
「生きられた時間」。



拘束と表現

メトロノーム = 規律 (Discipline)

オーケストラの合奏を可能にするための「正確さ」という共通基盤。



ルバート = 自由 (Freedom)

楽曲に個性と生命を吹き込むためのゆらぎ。



**テンポの本質は速度ではなく、出来事と出来事の中に生まれる関係性、
すなわち「間（ま）」の創造にあります。**

1873年、不定時法の終焉

明治6年、日本は太陽暦を採用し、定時法へと移行しました。それは近代化にとって不可欠なステップでしたが、同時に私たちは「自然との対話」としての時間感覚を失いました。



「メトロノームは奴隷のためにある。
私は自由だ」

— アルフレッド・コルトー (Alfred Cortot)

これは放縦ではありません。時間を真に所有する者による、高らかな宣言です。偉大な演奏は、常にルバートを含んでいます。

時間の再野生化に向けて

現代社会において、私たちは再び時間を問い直す必要があります。定時法の「効率性」を保ちつつ、不定時法の「柔軟性」を取り戻すこと。

**「飼い慣らされた時間」を、
もう一度「野生の時間」へと解放しましょう。**





テンポとは、刻むものではなく、
生きるものである。

参考文献・出典

セイコーミュージアム「江戸時代の暮らしと時間」

学研「江戸の時刻制度 "不定時法"」

国立天文台「暦Wiki/時刻/定時法と不定時法」

Wikipedia「和時計」「メトロノーム」「テンポ・ルバート」

ONTOMO「ベートーヴェンとメトロノーム」

note「認知科学における時間性について」